

月次経営提案書

ABC株式会社

税理士法人 ヤマダ会計

月次損益 早見表

25 年 11 月度
(目標対比)

(単位：千円)

	11月		6ヶ月累計		
	当月実績	当月目標	実績累計	目標累計	増減
売上高	20,000	23,220	140,000	132,620	7,380
仕入高	15,000	15,596	93,000	88,697	4,303
外注加工費	0	0	0	0	0
棚卸増減	0	0	0	0	0
付加価値	5,000	7,624	47,000	43,923	3,077
(付加価値率)	25.0 %	32.8 %	33.6 %	33.1 %	
人件費	3,575	3,490	22,110	21,513	597
減価償却費	312	315	1,872	1,890	-18
販売管理費	3,407	2,595	20,646	16,752	3,894
製造経費	0	0	0	0	0
営業外費用	396	348	2,177	2,396	-219
固定費	7,690	6,748	46,805	42,551	4,254
営業外収益	22	25	146	283	-137
経常利益	-2,668	901	341	1,655	-1,314
(経常利益率)	-13.3 %	3.9 %	0.2 %	1.2 %	

売上高構成表（目標対比）

（ 25 年 11 月現在）

（単位：千円）

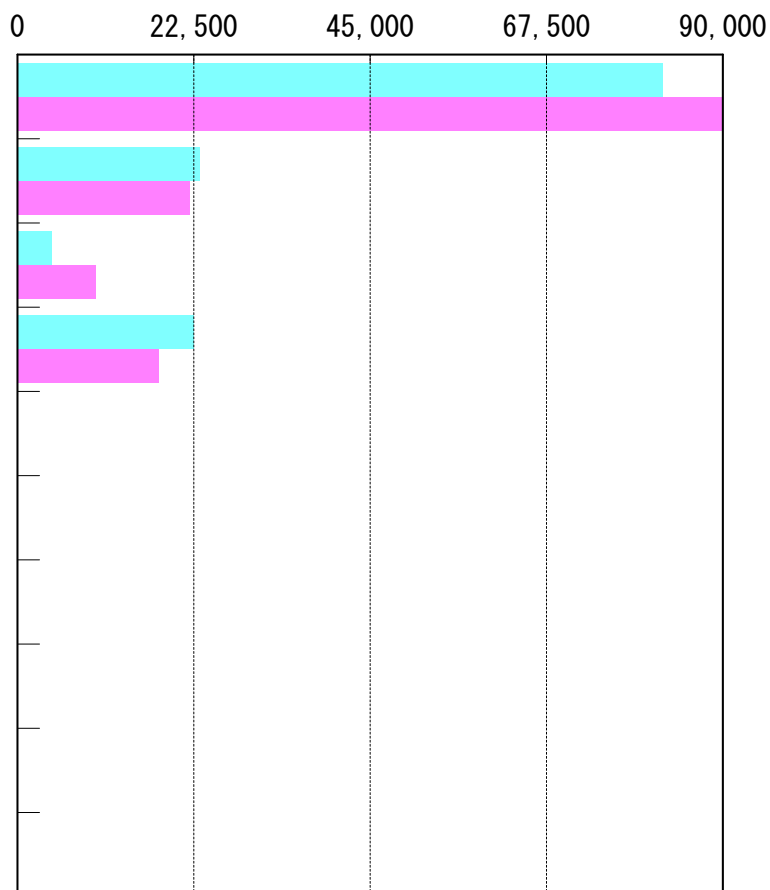
売上高区分	売上高				対目標比
	目標	構成	実績	構成	
卸売	82,400	62.1 %	90,000	64.3 %	109.2 %
小売	23,340	17.6	22,000	15.7	94.3
飲食店	4,380	3.3	10,000	7.1	228.3
新規事業	22,500	17.0	18,000	12.9	80.0
合計	132,620	100.0	140,000	100.0	105.6

構成グラフ

上段：目標

下段：実績

卸売	82,400
	90,000
小売	23,340
	22,000
飲食店	4,380
	10,000
新規事業	22,500
	18,000



損益月次ストラック表（目標対比）

（ 25 年 11 月分）

当月実績

売上高	変動費	
	付加価値	固定費
	経常利益	

当月目標

売上高	変動費	
	付加価値	固定費
	経常利益	

（単位：千円）

	当月実績	当月目標	増 減
売上高	20,000	23,220	-3,220
付加価値	5,000	7,624	-2,624
固定費	7,690	6,748	942
（うち 人件費）	（ 3,575 ）	（ 3,490 ）	（ 85 ）
営業外収益	22	25	-3
経常利益	-2,668	901	-3,569
損益分岐点売上高	30,760	20,573	10,187

付加価値率	25.0 %	32.8 %	-7.8 %
労働分配率	71.5 %	45.8 %	25.7 %

(6 ヶ月累計)

実績累計

6 ~ 11 月

売上高	変動費	
	付加価値	固定費

目標累計

6 ~ 11 月

売上高	変動費	
	付加価値	固定費

(単位：千円)

	実績累計	目標累計	増 減
売上高	140,000	132,620	7,380
付加価値	47,000	43,923	3,077
固定費	46,805	42,551	4,254
(うち 人件費)	(22,110)	(21,513)	(597)
営業外収益	146	283	-137
経常利益	341	1,655	-1,314
損益分岐点売上高	139,301	128,553	10,748

付加価値率	33.6 %	33.1 %	0.5 %
労働分配率	47.0 %	49.0 %	-2.0 %

キャッシュフローの解説

期首の当座資金

40,702

(単位：千円)

		調 達	運 用	キャッシュフロー		
営 業	税引前利益		341		341	本業により、どの程度の資金を獲得したかを見る。 税引前利益+減価償却費が出発点となります。 (減価償却費には、特別償却を含みます)
	減価償却費		1,872		1,872	
	売上債権	増		13,520	-13,520	
	(受取手形)		()	()	(0)	
	(売掛金)		()	(13,520)	(-13,520)	
	棚卸資産				0	
	その他流動資産	増		5,913	-5,913	
	(他当座資産)		()	()	(0)	
	(他流動資産)		()	(5,913)	(-5,913)	
	(貸倒引当金)		()	()	(0)	
	買入債務	増	4,279		4,279	
	(支払手形)		()	()	(0)	
	(買掛金)		(4,279)	()	(4,279)	
	割引手形				0	
	裏書手形				0	
その他流動負債	増	6,402		6,402		
その他固定負債	減		595	-595		
(他固定負債)		()	(595)	(-595)		
(引当金)		()	()	(0)		
その他		5,937		5,937		
(役員賞与)		()	()	()		
(法人税等)		()	()	()		
計		(18,831)	(20,028)	(-1,197)	A. 営業キャッシュフロー	
投 資	固定性預金	減	11,650		11,650	固定資産の取得や売却による資金の流れを見る。
	固定・繰延資産			576	-576	
	計		(11,650)	(576)	(11,074)	
営業・投資活動			(30,481)	(20,604)	(9,877)	フリーキャッシュフロー(A+B)
財 務	短期借入金	増	10,000		10,000	営業・投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを見る。
	長期借入金	減		30,579	-30,579	
	資本金				0	
	配当金支払				0	
計		(10,000)	(30,579)	(-20,579)	C. 財務キャッシュフロー	
当座資金の増減			(40,481)	(51,183)	(-10,702)	上積みキャッシュ高 (A+B+C)

(注) 固定・繰延資産は、減価償却費 (特別償却を含む) を除いた金額です。

経過末の当座資金

30,000

コメント：

● 経過末におけるキャッシュフローの結果

営業キャッシュフロー	-1,197 千円
投資キャッシュフロー	11,074 千円
フリーキャッシュフロー	(9,877) 千円
財務キャッシュフロー	-20,579 千円
上積みキャッシュ高	(-10,702) 千円

<ポイント①>

「利益」≠「資金（キャッシュ）」

「利益」と「資金（キャッシュ）」は、多くの場合、一致することはありません。よく言われる『勘定合って、銭足らず』とは、このことを指します。

<ポイント②>

営業キャッシュフローと 上積みキャッシュ高のココがツボ！

	営業キャッシュフロー		
上積みキャッシュ高		プラス	マイナス
プラス		良 好	注 意
マイナス		確 認	要 注 意

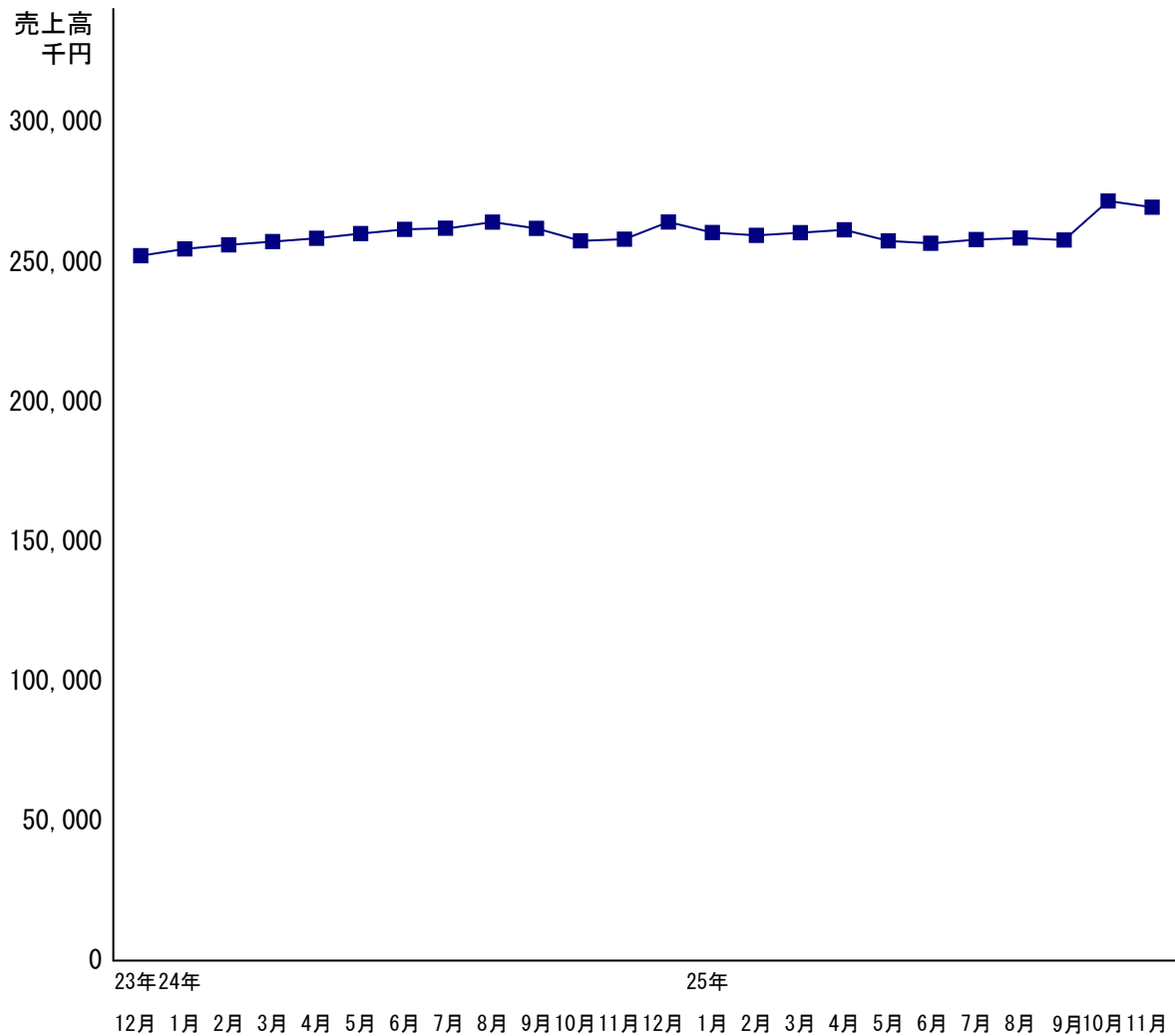
で塗られた位置が、御社の今回の位置となります。

良 好	本業で資金増加しており、結果として経過末の資金も増えています。理想的です。
確 認	本業では資金増加となっているが、資金は減っている。何故か？ → 借入金を返済したのでは？あるいは、設備投資に充てたのでは？ 保険積立や株式投資などに充てたのでは？…となります。
注 意	本業では資金減少となっているが、資金は増えている。何故か？ → 借入金で補ったのでは？…となります。
★ 要 注 意	本業でも、上積みキャッシュ高でもマイナスとなると、資金繰りを要チェックです。原因の振り返りと改善策の検討が必要です。

売上高移動年計グラフ

(25年 11月分)

売上高移動年計とは、その月からさかのぼった1年間の売上累計額の推移をグラフに表したものです。



売上高移動年計額

(単位: 千円)

	~23年12月	~24年 1月	~24年 2月	~24年 3月	~24年 4月	~24年 5月
金額	251,819	254,248	255,705	256,867	258,040	259,724
増減		2,429	1,457	1,162	1,173	1,684
	~24年 6月	~24年 7月	~24年 8月	~24年 9月	~24年10月	~24年11月
金額	261,230	261,630	263,827	261,588	257,131	257,715
増減	1,506	400	2,197	-2,239	-4,457	584
	~24年12月	~25年 1月	~25年 2月	~25年 3月	~25年 4月	~25年 5月
金額	263,867	260,099	259,093	260,042	261,077	257,126
増減	6,152	-3,768	-1,006	949	1,035	-3,951
	~25年 6月	~25年 7月	~25年 8月	~25年 9月	~25年10月	~25年11月
金額	256,269	257,576	258,146	257,432	271,376	269,150
増減	-857	1,307	570	-714	13,944	-2,226

※増減: 前月の移動年計額に対する増減額